

#1 食でつながるバトン

9/11 (木)
19:00-20:30



牛久 光次

たもんじ交流農園 創設者

1958年墨田区生まれ。工業高校卒業後、夜学に行きながら牛久工務店を経営。2010年から地域活動を始め、尋常な復活プロジェクトなどに取り組む。2017年に「寺島・三ノ宮まちづくり協議会」として NPO 法人化すると共に、墨田区北部の多間寺跡に「たもんじ交流農園」を開設。墨田区を里山にしていく「すみまプロジェクト」を進める。



立山 紫野

喫茶店主/産業保健師

1994年札幌市生まれ。「パリスタ保健師」として地域でも活動。2019年より「すみだ青空市ヤッチャバ」事務局に参加し、向島にある 1964 年創業の喫茶店と縁が生まれる。2025 年に「HOLLYday」として再スタート。現在も産業保健師として働きながら、心の温度が 1℃ 上がるような時間を大切にしている。

私たちの生活に欠かせない「食」。家やお店で食卓を囲む時間は、毎日に喜びをもたらしてくれます。一方で、食を提供する立場になれば、食材やレシピが人の手から手へとつながっていくことにも気が付きます。身近な食をきっかけに、心地よい空間や活気ある交流を支えてきた二人のガイドに、それぞれの活動について伺います。

#2 街の中でものをつくる

9/20 (土)
10:30-12:00



工藤 智未

totokoko デザイナー

横浜生まれ。美大卒業後、バッグの企画会社に経験を積み、フリーランスを経て 2014 年にレザーブランド「totokoko(トウトウコッコ)」をスタート。素材の限合いを活かしたバッグや小物を手がけています。2024 年、墨田区京島にアトリエショップをオープン。



小鯛 夕希子

オーロラキッチン店主

調理師専門学校卒業後、フレンチ・イタリアン、カフェなどや飲食店を営む。2009 年に墨田区へ移り住み、下町の老舗喫茶店で働きながら料理研究家としてレシピ制作や撮影に没頭。2013 年より、体に優しい食材を使用したカフェ「オーロラキッチン」をスタート。地域のみんながゆるやかに繋がる場所づくりを目指して営業中。

墨田区では大きな工場だけでなく、街中のアトリエショップやハンドメイド作品が集まる場所も賑わっています。個性的なお店が集まる京島エリアを探検しながら、ものづくりと街との関係を覗いてみましょう！

第 2 回のみやま文化センターではなく、カイトのお店を巡るツアーを行います。下記の集合場所まで徒歩にてお越しください。

〒131-0046
墨田区京島 3-23-11
TACHIBANA TERMINAL
2 階 京島共同凸工所
※京島共同凸工所は墨田区民専用です。

#3 街にゲストを迎えよう

——泊まる場所・働く場所

10/12 (日)
10:30-12:00



岩本 真佐一

墨田長屋店主

1969年大阪生まれ。2004年より墨田区東向島に在住。2017年に八広2丁目ゲストハウス「墨田長屋」を開業。2023年のコロナ禍後に八広の店舗は立ち退き移転となり、これを機に会社を早期退職。2024年に東向島地蔵坂へ移転し、1階を塾の営業する「ラザニアと世界の料理ロカント」、2階を「墨田長屋」として営業再開！



齊藤 浩一郎

街と人をつなぐ不動産屋

1984年生まれ。損害保険会社、ITベンチャーなどを経験したあと 26 歳で独立。コワーキングスペース「synapse」、シェアハウス「BANG」、たべるとしごとの複合施設「ニュー曳舟荘」などの運営を通じて、「不動産で遊ぶ人を増やす」がコンセプトの不動産会社キュビを運営しています。

観光名所の多い墨田区には、国内外からたくさんのゲストが訪れます。また、暮らし方や働き方の多様化にともない、シェアハウスやコワーキングスペースの需要も高まっています。外から訪れる人たちが街を好きになるためには、どんな工夫が必要なのでしょう？住民とゲストが交わる場を通じて、魅力ある街について考えます。

#4 世代を超える

10/18 (土)
10:30-12:00



森下 八尋

すみだ子育てメッセ実行委員長

第 1 子復職後に、墨田区のイベントプロデューサー講座を受講。すみだの「おもしろい大人」に出会ったことでキャリアを変え、第 3 子育児明けにフリーランスに転身。ライフデザインコーチとして、ダイバーシティ推進、女性活躍・キャリア支援に関わる。2025 年から「すみだ子育てメッセ」の実行委員長を担当。



和田 哲郎

下町案内人

1953 年生まれ、72 歳。広告業界を 35 年程で卒業し、向島 2 丁目に移り住む。2011 年から更紗彫の企画制作会社で頼田川同僚の観光協会や行政等と協力し、地域活性化、インバウンド対策の企画等を担当。その中で、自ら企画した街歩きガイドを自分で案内するようになり今に至る。2021 年から「すみだ向島 EXPO」ガイドツアーを担当。

街には、さまざまな世代の人が暮らしています。子育てや生涯学習など、多世代が関わる活動になればなるほど、年齢を問わず挑戦できる仕組みや支え合いが欠かせません。みんなが支え合える場をつくったり、個人で新しい挑戦を続けたり。世代を超えて街に活気をもたらすガイドの活動から、地域との関わり方のヒントを探ります。

交通のご案内

第 1, 3, 4 回会場
曳舟文化センター

- ・京成電鉄 押上線「京成曳舟駅」下車 徒歩 1 分
- ・東武スカイツリーライン・東武亀戸線「曳舟駅」下車 徒歩 4 分
- ・都バス「墨田区曳舟文化センター前（錦 40）」下車 すぐ前
- ・区内循環バス 北西部ルート 4「曳舟文化センター」下車 徒歩 1 分

主催

曳舟文化センター ☎ 03-3616-3951 (9 時 ~ 21 時)

(指定管理者 株式会社ケイミックスパブリックビジネス)

〒131-0046 東京都墨田区京島一丁目 38 番 11 号

ホームページ <https://www.hikifune-bunka.jp/>

